

(参考) SDGs と施策との関係

- 本計画では、SDGs の考え方を活用し、環境課題に対する施策の方向を示します。
本計画に掲げる各施策とSDGs の17のゴールの関連性は、下表のとおりです。

	1  貧困	2  飢餓	3  健康と福祉	4  教育	5  ジェンダー平等	6  水・衛生	7  エネルギー
1 持続可能な社会をけん引する人づくりと県民総ぐるみによる運動の展開		○	○	◎		○	○
(1) 環境問題を「自分ごと」と捉えるための意識改革の促進等		○	○	○		○	○
(2) 担い手の発掘・育成と活躍できる環境づくり		○	○	○		○	○
(3) 学習機会の充実		○	○	○		○	○
(4) パートナーシップの充実・強化				○		○	○
2 気候変動対策による環境と成長の好循環（グリーン成長）の実現		○	○	○		○	◎
(1) 気候変動対策の緩和策の推進			○	○			○
(2) 気候変動の影響への適応策の推進		○	○	○		○	
(3) 成長戦略としての環境の取組みの推進		○	○			○	○
3 再生可能エネルギーの導入拡大による地域の活性化				○			◎
(1) 大規模事業の県内展開促進							○
(2) 再生可能エネルギーの地産地消							○
(3) 地球温暖化対策としての再エネの導入拡大・利用促進							○
(4) 地域資源活用による経済循環及び地域課題の解決							○
(5) 災害対応力（レジリエンス）の強化							○
(6) 自然環境や歴史・文化等との調和を図った再エネ導入促進				○			○
4 3Rの推進による循環型社会の構築		○	○	○		○	○
(1) 資源循環型社会システムの形成		○	○	○		○	○
(2) 資源の循環を担う産業の振興				○			○
(3) 廃棄物の適正な処理による環境負荷の低減			○	○		○	
5 生物多様性を守り、活かす自然共生社会の構築		○		○		○	○
(1) 生物多様性の保全		○		○		○	
(2) 自然環境との共生			○	○		○	
(3) 環境資産の活用・継承		○	○	○			○
6 良好な大気・水環境の確保と次世代への継承			◎	○		◎	
(1) 大気環境の保全			○				
(2) 水環境・水資源の保全・活用			○	○		○	
(3) 土壌環境・地盤環境の保全			○			○	
(4) 化学物質の環境リスクの低減			○			○	
(5) 公害被害等の防止と解決			○			○	

※82 ページと 83 ページは見開きにしてご覧ください。

それぞれの施策の柱において、特に関連性のあるゴールを◎で表示しています。

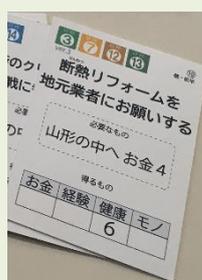
8 経済成長 と雇用	9 イノベーション	10 不平等の 是正	11 安全な 都市	12 持続可能な 消費と生産	13 気候変動	14 海洋・ 海洋資源	15 陸域生態系・ 生物多様性	16 平和と 公正	17 パートナ ーシップ
○	○		○	○	○	○	○		◎
○	○		○	○	○	○	○		○
○	○		○	○	○	○	○		○
○	○		○	○	○	○	○		○
○	○		○	○	◎	○	◎		○
○	○		○	○	○	○	○		○
○	○		○		○	○	○		○
○	○		○	○	○	○	○		○
○	◎		◎	○	◎	○	○		○
○	○		○		○				○
○	○		○		○				○
○	○		○		○				○
○	○		○	○	○				○
○	○		○		○				○
○	◎		◎	◎	○	◎	○		○
○			○	○	○	○	○		○
○	○		○	○					○
○			○	○	○	○	○		○
○	○		○	○	◎	○	◎		○
○	○		○				○		○
○	○		○	○	○	○	○		○
○	○		○				○		○
			◎	○	○	◎	○		○
			○	○	○				○
				○		○	○		○
			○	○					○
				○					○
			○	○					○
				○					○

【コラム】「山形版」SDGsシミュレーションカードゲーム



SDGsの理解を助けるツールとして、様々なカードゲームが作られています。東北芸術工科大学の卒業生である佐藤朋子さんは、2019（令和元）年度に行った卒業研究において、「山形版SDGsシミュレーションカードゲーム」を制作しました。世界規模の課題も含むSDGsを、佐藤さんが住む山形市にある身近な題材と結びつけて考えることで、市民がSDGsを楽しみながら学ぶことができるものとなっています。

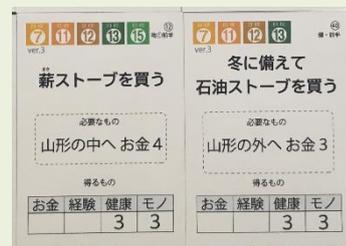
ゲームの世界は山形市、プレイヤーは山形市内に住む山形市民という設定です。与えられたお金を使って日常生活に関わるアクションを起こしていきます。「車を2台買う」、「ベニちゃんバスに乗って買い物に行く」、「芋煮会で地産地消」、「冬に備えて灯油を買う」など、山形市ならではのアクションが準備されており、プレイヤーがどんなアクションを選択するかによって、山形市の「環境」や「社会」、「地域経済」の状況メーターが変化していきます。



例1 「断熱リフォームを地元業者にお願いする」のアクションカードを選択すると…

- ①断熱性能が上がってエネルギー消費量が削減 ⇒ 「環境」の状況メーターがup!
- ②室内の寒暖差によって起こるヒートショックのリスクが減少
→生活の質が上昇 ⇒ 「社会」の状況メーターがup!
- ③地元の業者をお願いする ⇒ 「地域経済」の状況メーターもup!
- ④断熱性能が上がりエネルギー消費量が削減 →光熱費の支払いが半分に!

例2 2つのアクションカード「冬に備えて石油ストーブを買う」と「薪ストーブを買う」では、どちらを選択しても、「モノ」3と「健康」3を得るところは同じですが、光熱費が山形の中へ落ちるか山形の外へ落ちるかの違いが設定されています。これは、それぞれ燃料に何を使っているかを考えれば理解できるでしょう。



佐藤さんは大学卒業後も、SDGsを多くの人に知ってもらいたいという思いから、カードゲームを使った普及活動を県内各地で展開しています。山形市以外で活動を行うときにはその土地に合わせたアクションを取り入れながら、現在では「山形県版」のゲームとして改良が重ねられています。SDGsをキーに様々な方とつながりパートナーシップが構築されていくなど、普及活動を通して、佐藤さんはまさに“SDGs”を感じているそうです。



高校生を対象としたSDGs学習会で
カードゲームを実践している佐藤朋子さん